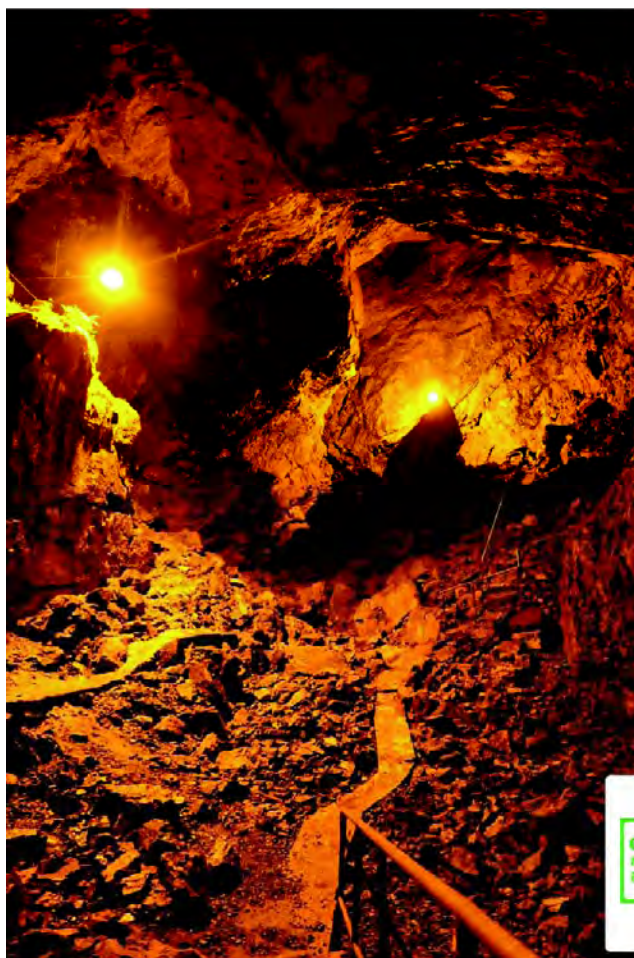


河内風穴探訪・多賀大社散策と芹川ダム見学のご案内

2022.10.12



滋賀県は伊吹山に見られるように石灰岩の多いところです。霊仙山の麓にある「河内の風穴」は、いわゆる観光鍾乳洞とは一味違った自然味溢れた石灰岩質の洞穴です。全国3位の総延長でありながら未だ謎の部分が多く、その壮大な“大広間”と呼ばれる大空間は、外界とは違ったまさに異空間、訪れる人たちを魅了してやみません。また鈴鹿の山波、芹川の清流など周囲の豊かな自然も魅力一杯です。

1. 日程 2022年10月28日（金）
2. 集合 梅田 大阪モード学園前 9時00分出発
3. スケジュール予定：
 - ・09時00分 大阪モード学園前 発
 - ・10時05分 菩提寺 PA トイレ休憩 10時20分発

- ・ 10 時 50 分 多賀大社着
- ・ 11 時 40 分 多賀大社発
- ・ 11 時 50 分 「河内の風穴」 駐車場 着
昼食： 風緑（蕎麦屋 メニュー添付：現時点の価格不明）
- ・ 12 時 40 分 「河内の風穴」 見学 料金：500 円 ガイドなし
入口まで少し山道を登ります。並行して広い通路あり。
- ・ 13 時 30 分 「河内の風穴」 駐車場 帰着
- ・ 13 時 30 分 「河内の風穴」 駐車場 発
- ・ 13 時 40 分 芹川ダム 着 現地説明あり 芹川沿岸土地改良区
事務局長 杉本 雅俊氏
- ・ 14 時 40 分 芹川ダム 発
- ・ 15 時 20 分 草津 PA トイレ休憩 15 時 35 分発
- ・ 16 時 45 分 梅田 大阪モード学園前 着

4. 費用 :

5. 装備、持参品 : 雨具、水筒（ペットボトル可）、足元照らすライト（照明あり）

6. その他

- ・ 雨天決行とします。滋賀に警報発令時は中止 前日メール連絡

- ・ 昼食 「河内風穴」 駐車場内に“風緑”（蕎麦屋 メニュー添付）使用
小規模（蕎麦の予約確認が必要）



1. 河内の風穴について

「河内の風穴」(カワチノフウケツ：滋賀県犬上郡多賀町大字河内)は、鈴鹿山脈最北部のカルスト地帯にある石灰岩質の洞穴で、琵琶湖に注ぐ芹川の源流部に位置します。このあたりは全国でも有数の石灰岩地帯で、大小多くの石灰洞がありますが、その中でも「河内の風穴」はけた外れの規模で、総延長は10,020m以上といわれているものの、未だその全貌は明らかではありません。現在でもこの長さは全国3位を誇り、滋賀県の天然記念物にも指定されています。

未だ謎多き洞穴

記録によると「河内の風穴」は、江戸時代からその存在が人々に知られていたようで、「越前(福井県)へぬける」といった記述も残されています。さすがに福井県までは距離があるので無理はありますが、それだけ奥が深く、当時の人たちにとっては今以上に謎がいっぱいの洞穴だったということなのでしょう。

現代では、滋賀県からこの風穴に入った犬が、山の向こうの三重県側から出てきたという話が伝えられています。その真偽はともかくとしても、鈴鹿山脈北部のこの辺り一帯がカルスト地帯ということを見ると、石灰岩の山塊が雨水や地下水の浸食によってできる石灰洞が三重県側とつながっているというのも、決してあり得ない話ではないのかも知れませんね。

その風穴の入り口は高さ1m くらいの小さな穴。これだけを見ると、その大規模な洞穴がこの先

に続いているなんてことは、とても想像が付きません。この入り口周辺は、少し身をかがめなければ中には入れないのですが、中に入ってしまうとそこはまるで別世界！シンプルにライトアップされた照明の色に染められ、全てが岩で覆われた神秘の大空間がそこに広がっているのです。

神秘の大広間は異空間！

写真をご覧ください。これが洞穴内の大広間と呼ばれる所です。未だ全容解明がされていない大規模の風穴ですが、現在、観光で見ることができるのは、入り口から200mほどの部分の1階と、鉄の梯子を上る2階部分になります。これらの先にはさらに壮大な地底湖や地底河川、鍾乳石・・・など数々の神秘の造形美が待っているのですが、現在はそれらを見学することはできません。でも、その先の世界を想像するだけでも、なんだかワクワクしますね。

それにしてもこの広々とした空間には驚きます。もちろん支柱などで支えられているわけもなく、自然にできた大広間なのです。崩れ落ちている無数の岩にも驚くばかりです。

洞穴内には散策道があり、階段部などには手すりがつけられているので安心して見学することができますが、この神秘の空間に入ってしまうと、なんだか遠近感や距離感などがマヒしてしまうような、そんな不思議な感覚になります。他に人がいると、その人から全体の大きさを測ることができるのですが、1人になってしまうと大きいのか小さいのか、遠いのか近いのかなどがわからない、これまでに味わったことのないような不思議な感覚に包まれます。他ではなかなか体験できない感覚ですよ。

風穴内は、年間を通して温度が12度

「河内の風穴」は、1年を通して洞穴内の温度が約12度。ですので、暑い季節にはとても涼しく、ひんやり快適です。また逆に冬の寒い時でも、それほどの寒さを感じることはありません。このあたりも、外界とは違う異空間を感じる部分です。

風穴見学は、特に定休日などは設けられていませんが、雪や雨のひどい時などは足元が悪くなるので見学することはできません。 河内風穴観光協会（TEL:0749-48-0552）

また、駐車場から風穴入り口までは10分程山の遊歩道を歩くことになり、一部急斜面の石段などもあります。さらに洞穴内部は、条件によっては足元が滑りやすくなっていることもありますので、滑りにくい靴や岩場でも歩きやすいような靴が安心です。できるだけ動きやすい服装がいいでしょう。

出典：<https://www.travel.co.jp/guide/article/17743/> 一部割愛

2. 芹川ダム事業の概要（県営農地防災事業芹川地区）

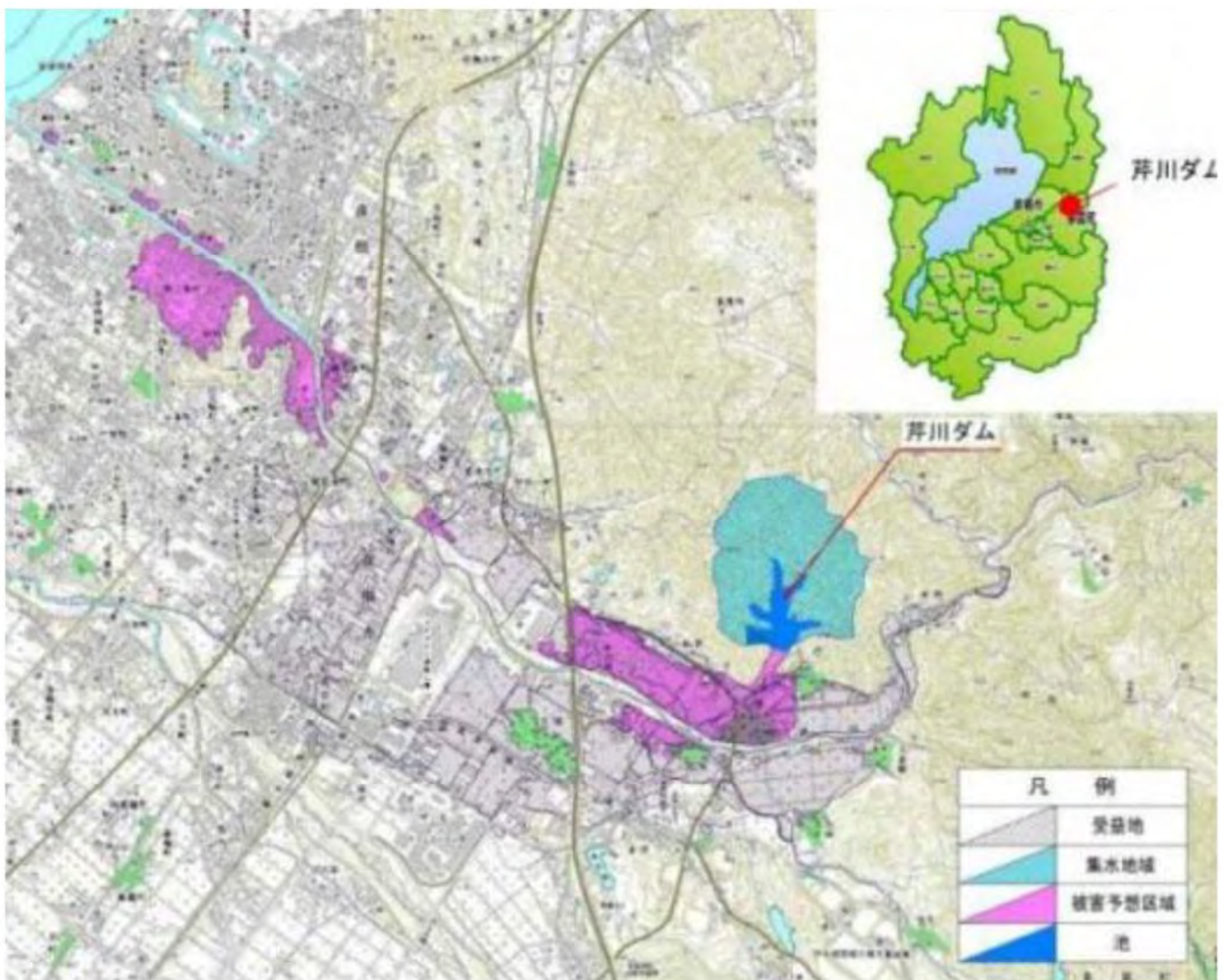
芹川ダムは、昭和14年から昭和30年度にかけて造られた農業用ダムで地域の重要な水源となっています。東日本大震災において福島県内のダムが決壊し死傷者が出たことを受け、芹川ダムの耐震診断を実施しました。

その結果、地震時の安全性が不足しており、満水時に震度5程度の地震が発生すればダムが決壊し、人家2千戸以上に被害が及ぶ恐れがあることが判明しました。このため、平成27年度から耐震改修に着手しているところです。

改修後は、今後高確率で発生すると予想されている南海トラフ地震にも対応できるダムとして生まれ変わります。

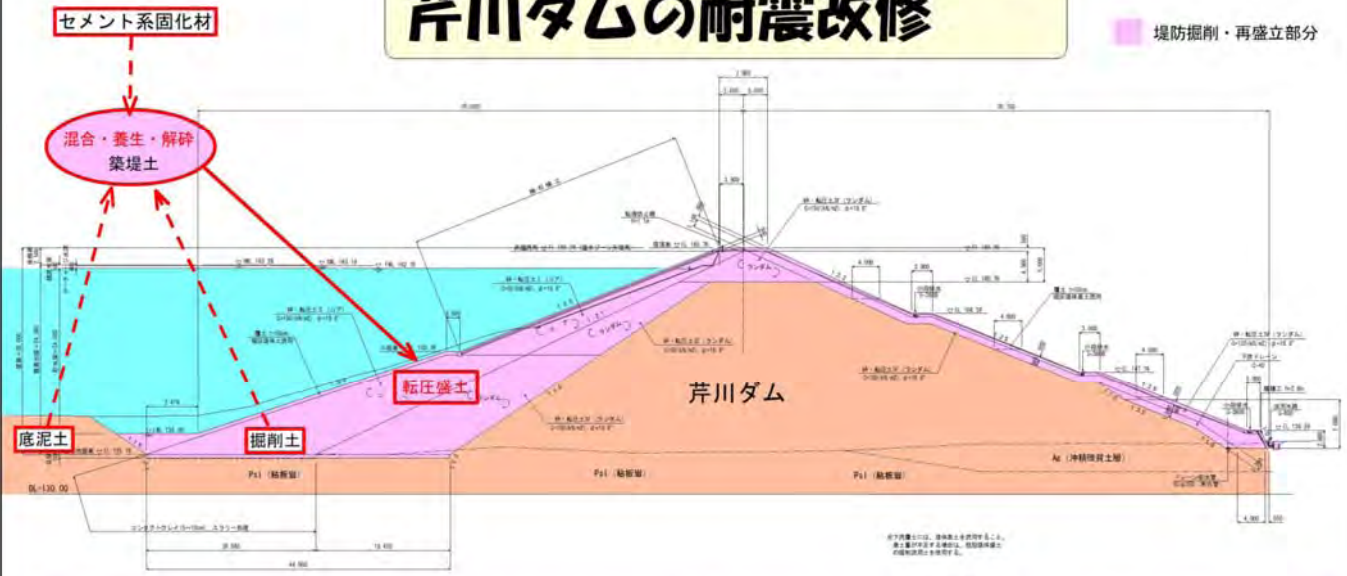
本ダムは都市型のダムです。近隣住民の安全確保のため、ダム改修に当たり「砕・転圧盛土工法」という新技術が適用されています。

- 事業期間:平成27年度から令和4年度
- 総事業費:14億97百万円
- 受益面積:306ha（平成26年時点）
- 関係市町:彦根市、多賀町



芹川ダムの位置と受益図

砕・転圧盛土工法による 芹川ダムの耐震改修



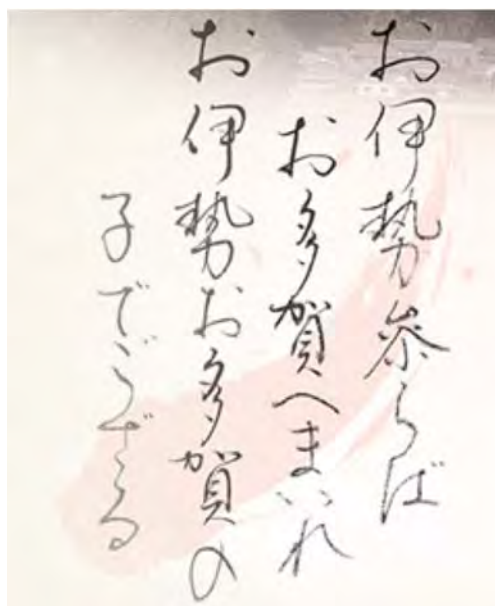
砕・転圧盛土工法は、農林水産省の官民連携新技術研究開発事業において開発された、ため池改修工法で現況堤体の掘削土や貯水池内に堆積した底泥土をセメント系固化材により固化処理して所要の強度と遮水性を有する築堤土を製造して堤体の補強や漏水防止のための築堤を行うもので、滋賀県では、平成21年度に甲賀市にある大原ダムの改修でも採用された実績のある工法です。

今回の芹川ダム改修では、現況堤防や基礎地盤の掘削により発生する土量が約60,000m³と見込まれ、これを可能な限り有効利用するため本工法を採用し、築堤土を現地作成することで、場外処分を少なくするとともに、土取場や購入土の確保を不要とすることで、トータルコストを低減しています。



施行中の様子 (R2.3.7時点)

3. 多賀大社について



御祭神

伊邪那岐大神 (いざなぎのおおかみ)

伊邪那美大神 (いざなみのおおかみ)

～由緒～

古くから「お多賀さん」の名で親しまれる滋賀県第一の大社です。

日本最古の書物「古事記」によると、この二柱の大神は神代の昔に、初めて夫婦の道を始められ、日本の国土、続いて天照大神をはじめとする八百万（やおよろず）の神々をお産みになられました。

生命（いのち）の親神様であることから、古く「延命長寿・縁結び・厄除け」の神様として信仰を集め、鎌倉時代から江戸時代にかけては、武家や民衆にも信仰が広まり、多賀大社の分祀社は全国239社を数えます。



当社の東、約6キロの地に杉坂峠の三本杉がある。この三本杉は当社のご神木です。

神代の昔、国生みの大業を終えられた伊邪那岐大神は高天の原からこの峠に天降られ、休息をなされた時に、土地の老人が粟の飯を献上した。大神はご機嫌麗しくお召し上がりになり、食後その杉箸を地面に刺したところ、その杉箸が根付き今見るような大木になったといわれています。



「お多賀杓子」



元正天皇（げんしょうてんのう）

元正天皇の病気に際し、当社の神主が強飯を炊き、しでの木で作った杓子を献上、天皇はたちまち治癒されたと伝え、そのしでの木が現存する飯盛木で、杓子は「お多賀杓子」として有名です。



寿命石



俊乗坊重源（しゅんじょうぼうちょうげん）

平安の昔、東大寺の再建を命ぜられた俊乗坊重源は当社に参詣、二十年の寿命を授かりました。寿命石はその由緒を伝える石として延命を祈る人が耐えません。



太閤秀吉の信仰



奥書院庭園

天正十六年、太閤秀吉は米一万石を事納し、母大政所の病氣平癒を祈りました。太閤橋や奥書院庭園は、その奉納によって築造されたと伝えています。



太閤橋



太閤秀吉祈願文